

## 第 18 回高松市中心市街地活性化協議会開催結果

- 日 時 平成 26 年7月2日(水) 13 時 30 分から 15 時まで
- 場 所 高松商工会議所会館 4階 401 会議室
- 出席者 委員 19 名・委員代理 1 名・オブザーバー10 名・随行者 14 名・傍聴者 3 名
- 開催結果



事務局から、規約改正により、会長等は後任者が決定するまで引き続きその職務を行うこととなっている旨を説明した後、植木会長が議長となり議事を進行した。

議題1「会長の選任について」を上程し、選任方法について諮ったところ、出席委員から高松大学教授植木英治氏の再任をお願いしたい旨の発言があり、これを議場に諮ったところ植木教授を選任することに全員異議なく承認決定した。

引き続き、植木会長が就任挨拶の後、議長となり、議題2「副会長の指名について」を上程し、本件については、規約において会長が指名することになっている旨の説明の後、当協議会の設置者である当所山田専務理事及び高松丸亀町まちづくり株式会社取締役明石照夫氏を指名し、了承を得た。

次に、議題3「監事の選任について」を上程し、選任方法について諮ったところ、出席委員から、議長一任の発言があり、これを議場に諮ったところ全員異議なく賛同を得たので、植木議長は、高松市南部商店連合会会長河合政弘氏及び社会福祉法人高松市社会福祉協議会常務理事川原譲二氏を指名し、了承を得た。

次に議題4「コトデン瓦町ビルリニューアル計画について」を上程し、高松琴平電気鉄道株式会社の担当者から次のとおり説明を受けた。



再生テーマを「核再生を通じた中央商店街への貢献」、再生コンセプトを「サードプレイス宣言～市民みんなのわたしの居場所～」とする。

本事業は、中心市街地に集まるすべての世代の様々な目的に応じられる居場所を創出し、賑わいを中央商店街に広げていくことを目的にしている。そのために、若年層、ファミリー層を中心とした施設にするのではなく、中心市街地に年配層を含めた全世代が訪れ、長く滞在できるための3つのゾーンを配置した先進的な施設を目指している。具体的には、全 11 階のフロアをファッションや雑貨の店を中心にした「都市ターミナルライフスタイルゾーン」(地下1階～5階)、美容や健康系サービス、カルチャースクール等が入る「都市生活ゆとりゾーン」(6・7階)、飲食店や市役所サービス、サロン等が入る「市民生活コミュニティゾーン」(8階～10 階・屋上)に分ける。屋上は、高松の街並みが一望できる立地を活かして「屋上庭園」を新設する。琴電瓦町駅の改札とつながっている2階コンコース部分も改修し、シンボリックな空間に再生したいと考えている。また、商店街とのイベントの共同開催や連携の強化を図ることにより、商店街の回遊性を高めるとともに、地域全体の活性化に積極的に関与していきたい。



引き続き、意見交換に移り、出席委員からは、「食料品フロアは必要である。」、「二核があって初めて繁栄に繋がる。是非、ことではここで踏ん張ってもらいたい。」、「総売上や来客数の目標値を決めて、効率的な売り場づくりをしなければならぬ。」、「毎日または定期的に訪れる仕組みづくりを考えてはどうか。」、「屋上庭園を訪れる仕組みづくりも必要である。」、「商店街との連結の方向、導線を計画してもらいたい。」、「ゾーニングの魅力というより、魅力的な人を如何に集わすかの工夫もポイントの一つである。」、「アフターファイブに、働いている人が気軽に使え、集える場所を設けたらどうか。」等の意見が出された。



この後、当リニューアル計画の承認について委員に諮ったところ、全員異議なく承認したので、高松琴平電気鉄道株式会社に当計画の推進等を依頼するとともに、高松市当局には、第2期高松市中心市街地活性化基本計画への追加掲載を依頼した。

